


平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 地域掲示板設置事業 |
| 事業実施前の状況 | 地域内（姫室町自治会）にある掲示板の老朽化が激しいため、広報活動に支障があった。 |
| 事業実施後の状況 | 老朽化した掲示板に変わり、新たに設置した掲示板は、ワイドで大きなポスターも充分張ることができ、住民からも賛辞の声があった。 |
| 事業の効果 | ワイドで見やすい掲示板に付け替えたため、地域の広報活動が活発化した。 |
| 今後の課題等 | 地域のお知らせや地域コミュニティ推進協議会の活動も、この掲示板を通じて地域住民に広く知らせることができる。今後も広報活動の充実を図る。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 公園整備事業 |
| 事業実施前の状況 | 桃園公園の設備を充実させ、地域住民の憩いの場を活性化する。 |
| 事業実施後の状況 | 昨年度の公園整備に続いて、今年度は遊具の充実に焦点を合わせ、広々とした空間と各種遊具の設置により、市民の憩いの場を創造できた。 |
| 事業の効果 | 市民の利用がこれまでと大きく変わり、毎日多数の親子連れが訪れ、まさに市民の憩いの場として賑わっている。 |
| 今後の課題等 | 遊具の補充も計画的に検討しながら、安全な遊び場をめざす。 |

平成27年5月14日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 水路安全 ^{柵整備} (対策)事業 |
| 事業実施前の状況 | 児童の登下校時に利用する通学路に、柵のない水路があり、児童にとって危険な箇所であり、転落事故が発生しないかと気になっていた。 |
| 事業実施後の状況 | 転落事故の可能性のある危険な水路に転落防止柵を設置したことで、転落事故から子ども達を守る事ができる。 |
| 事業の効果 | 転落防止の安全柵の設置により、登下校時の児童の安全を確保できた。近隣の住民たちからも安全確保の声が聞こえてきていた。 |
| 今後の課題等 | 地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印

記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 道路安全対策 (カーブミラー設置)事業 |
| 事業実施前の状況 | 交通事故等の危険をはらんでいる交差点に安全な施策を推進して事故の防止を図る。 |
| 事業実施後の状況 | カーブミラーの設置により、死角が解消され安全性が向上した。 |
| 事業の効果 | これまで見えにくい人や車の往来がカーブミラーの設置で確認でき、子どもやお年寄りを交通事故から守れるようになった。 |
| 今後の課題等 | 地域内には、まだまだ危険な個所が点在しているので、カーブミラーの設置を順次検討していきたい。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印




記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 街路灯強化事業 |
| 事業実施前の状況 | 地域内の街並みでうす暗い道路等に街路灯を設置し、安全確保に努める。 |
| 事業実施後の状況 | 地域内（桃園町内会）に街路灯を設置することにより、夜間の安全を確保することができた。 |
| 事業の効果 | 市民が通行する道路に街路灯を設置したことで、地域住民から安心して夜間の通行ができるとの喜びの声が聞こえてきた。 |
| 今後の課題等 | 地域内のうす暗い場所等に安全確保のため、街路灯の設置を進めていきたい。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 呉服小学校吹奏楽クラブ支援事業 |
| 事業実施前の状況 | 呉服小学校の吹奏楽クラブの楽器が老朽化していて、正確な音程を出せない状態である。 |
| 事業実施後の状況 | 老朽化した楽器（ホルン）を新規購入することで、古い楽器を新しく入ってくる児童の練習用に活用している。 |
| 事業の効果 | 新しい楽器演奏で技術の向上に役立つとともに、練習用の楽器ができたことで更なるレベルアップが図れる。 |
| 今後の課題等 | 年々老朽化する楽器を計画的に買い替えすることがこれからも必要と思われる。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 地域コミュニティ紙等発行事業 |
| 事業実施前の状況 | 協議会の存在や活動内容について、地域全体に広報することで理解をしてもらっている。 |
| 事業実施後の状況 | 校区に居住する住民に、協議会の活動報告を周知することにより、協議会の活動について理解が得られた。 |
| 事業の効果 | 結果、校区に居住する住民から協議会への参画希望が増加し、特に若い世代の人達からの新入会員が得られた。 |
| 今後の課題等 | 今後も益々内容の充実を図り、毎年実施している事業のお知らせや協議会への参加を促進していきたい。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印


記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 |
| 事業実施前の状況 | 共同利用施設呉服会館の一室を地域コミュニティ推進協議会の活動拠点として、備品等の整備を進めている。 |
| 事業実施後の状況 | 地域コミュニティの拠点として、地域活動の活性化が図られた。 |
| 事業の効果 | 協議会における役員会や各部会の活動が活発に展開され、地域分権推進に大いに役立っている。 |
| 今後の課題等 | 小会議室の再整備と備品購入で協議会活動の更なる活性化を図る。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | (地域)合同防災訓練事業 |
| 事業実施前の状況 | 校区内での防災訓練は、昨年まで5自治会で実施していたが、実際の災害が発生した場合を想定した上で、今年度より8自治会合同で実施した。 |
| 事業実施後の状況 | 呉服小学校の校庭及び体育館を活用して、合同防災訓練（8自治会）を実施することで、地域住民同士が一体感を得ることができた。 |
| 事業の効果 | 不慮の災害時、自主防災会と地域住民が協力して難局を乗り越える事ができるよう、相互信頼の構築ができた。 |
| 今後の課題等 | 防災訓練の内容をより充実させることにより、地域住民との信頼関係をさらに向上させること課題と思える。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印




記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 青パト隊パトロール活動事業 |
| 事業実施前の状況 | 青パトでの呉服小学校区内巡回パトロール実施により、各種犯罪の抑止効果を図る。 |
| 事業実施後の状況 | 呉服会館敷地内に設置した青パト駐車を拠点に、隊員による巡回回数や巡回範囲の拡充を図ることで地域の安全確保ができています。 |
| 事業の効果 | 呉服小学校区内の細い道まで巡回範囲を広げることにより、各種犯罪の抑止効果に車両を活用できた。 |
| 今後の課題等 | より一層の巡回活動の充実を図る。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | くれはフェスタ・くれは祭り開催事業 |
| 事業実施前の状況 | くれは地域内のコミュニケーションの充実を図ることを目的に合同で祭りを開催する。 |
| 事業実施後の状況 | 地域内の各種団体の協力を得て、ステージをはじめ模擬店等で盛り上げていただき、地域内のコミュニケーションの充実を図ることができた。 |
| 事業の効果 | 今年度は2回目ということで、呉服小学校PTAとのコミュニケーションも図られ、祭りを盛り上げることができた。また、PTAの方々の協議会への入会もあり、大きな収穫である。 |
| 今後の課題等 | 地域内のコミュニケーションを今後も積極的に図り、地域のつながりを広げていきたい。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 呉服小学校花いっぱい運動支援事業 |
| 事業実施前の状況 | 昨年度より引き続き実施している事業で、地域と学校が一緒になって花を育てる活動を支援する。 |
| 事業実施後の状況 | 「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動を支援する。 |
| 事業の効果 | 呉服小学校と地域が一緒になって花を育てるプロジェクトに参加し、子ども達が花を育てる喜びを感じ、感性豊かな心を育む事ができた。 |
| 今後の課題等 | 感性豊かな子ども達を育てていく事業にも、今後とも積極的に対応していきたい。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印 


記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 交通安全体験イベント事業 |
| 事業実施前の状況 | 各種の交通安全施策を推進しているが、交通事故が絶えることはなく、小さな子供たちやお年寄りを交通事故から守ることを目的とする。 |
| 事業実施後の状況 | スタントマンによる疑似交通事故の実況を目の当たりに見て、戦慄が走る感覚は刺激的であり、交通事故の怖さを十分に体験できた。 |
| 事業の効果 | 交通安全体験イベント事業に参加した子供たちは交通事故の怖さを見聞し、神妙な面持ちで交通安全をに直していたようです。 |
| 今後の課題等 | これからも交通事故には十分配慮しながら、安全確保に努めていく。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | MTPフェスティバル支援事業 |
| 事業実施前の状況 | 池田地域コミュニティ推進協議会と共に、MTPフェスティバルの支援を行う。 |
| 事業実施後の状況 | 小学校区から中学校区へと範囲が広がり、また、他の地域コミュニティとの交流も活発にできた。 |
| 事業の効果 | MTPフェスティバルに当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れた。 |
| 今後の課題等 | 他地域の行事への報奨金も検討しながら、フェスティバルが活性化するよう努める。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印 


記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | グラ [↓] ンドゴルフ実施事業 |
| 事業実施前の状況 | グラ [↓] ンドゴルフの普及とスポーツを通じての地域のコミュニケーションを図る。 |
| 事業実施後の状況 | 年3回のグラ [↓] ンドゴルフ大会を開催することにより、地域住民同士のコミュニケーションが図られた。 |
| 事業の効果 | 参加者は会を重ねるごとに増加し、今年度は小学生の参加も見られ、グラ [↓] ンドゴルフを通じてのコミュニケーション作りは効果あり。 |
| 今後の課題等 | 若者の参加が得られなかったことなど、今後の広報活動や運営の方向性に検討の余地あり。 |

平成27年5月15日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 市民レクリエーション大会事業 |
| 事業実施前の状況 | 地域のスポーツ振興会が開催している市民レクリエーション大会を支援する。 |
| 事業実施後の状況 | 当協議会が行事報償金として支出することで、地域住民のコミュニティ意識の向上を図る。 |
| 事業の効果 | 市民レクリエーション大会に当協議会が参画することで地域住民のコミュニケーションの向上が図れた。 |
| 今後の課題等 | 他地域の行事報償報奨金とも検討し、校区の市民レクリエーション大会が活性化するよう努める。 |